選手・監督・観客の対応について

**（１）コロナ感染症に罹患した場合の出場判断基準について**

・コロナ感染症に罹患した（陽性者）当該選手

学校における出席停止の期間にあたる場合、出場不可。

出席停止の期間にあたらない場合は、出場可。

・上記選手以外、出場可。

**（２）観客について**

・一般も含め全員を認める。

・観客については、受付にて検温・名簿に記名をすること。

・登録外選手については、学校生徒の場合は健康チェックシートを利用し、監督がまとめておくこと。

**（３）練習（レッスン・アップ）の予防義務**

・レッスン中はマスクの着用を義務付けない。

・アップ・クールダウンなどの運動を行っている際のマスク着用は求めないが、

常に自分 のマスクを携帯しておくことが望まれる。

**（４）競技参加者の予防義務**

・フェンシングマスク内にフェイスシールドをしておくこと。

・ピストに上がる際は、マスクの着用を義務付ける。

・試合中はマスクをベンチに置くかポケットなどに入れ、本人以外が触ることのないように配慮する。

・審判への説明要求や抗議を行う際には、発声することが出来るが、距離を確保し行う。

・競技前後で選手・監督・審判による握手等の接触は行わない。（剣のタッチを行う。）

・選手は決められた椅子に座り、試合中以外はマスクを着用する。

・選手監督は、試合終了後座っていたベンチの消毒を行う。

・試合中の応援については、マスクの着用をすることで許可する。

**（５）開会式・閉会式について**

・選手監督は、マスクの着用を義務付けるが、写真撮影など言葉を発さないシーンではこの限りではない。

**（６）応援について**

・学校対抗、個人対抗ともにベンチに入れるのは登録選手と監督のみ。

・ベンチの後ろで登録外選手の応援を認める。（ただし全員マスク着用）